



第82回海洋教育フォーラム に協賛しました

(公社)日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会は、若者が船や海に興味を持つことを期待して全国でフォーラムを開催しています。12月17日(土)、三笠講堂において約80名の参加をえて開催され、海洋環境等に関して研究者に加えて高校生の発表がありました。

今回は「海洋の環境と生物—最新研究とZ世代が見る海—」とのテーマで開催されました。

第1部は「最新研究」と題して研究者による発表がありました。

- ・船舶を活用した海洋浮遊ごみの回収とサーマルリサイクル(川原秀夫 防衛大学校)
- ・深海生菌類～未知なる多様性と可能性～ (長野由梨子 海洋研究開発機構)

第2部は「Z世代が見る海」と題して3校の高校生による発表がありました。

- ・マダカアワビとカジメの資源量回復を目指して (神奈川県立海洋科学高校)
- ・サステナブルな三浦半島～貝殻のもたらす地域経済の活性化～(神奈川県立横須賀高校)
- ・イカ体表から単離した発行細菌に関する研究 (横須賀学院高校)

最後に講演者を交えて自由討論が行われ、発表した高校生にはフォーラムの小林委員長から表彰状が授与されました。

高校生による発表は、研究者本人の励みになるとともに、その内容が地域の海に根差した研究で参加者にも感銘を与えたようで、今回視聴できない多くの地域の方にも知らせる機会が望まれる等の意見がありました。

